

令和5年度

碧南市地産地消推進協議会

令和5年6月1日提出

碧南市地産地消推進協議会

会長 藤浦利吉

## 令和年5度 碧南市地産地消推進協議会総会議案書目次

### 1 議 事

第1号議案 令和4年度事業報告及び決算報告について

第2号議案 令和5年度事業計画（案）及び予算（案）について

第3号議案 碧南市農山漁村発イノベーション戦略について

### 2 その他

(1) 碧南市地産地消推進協議会規約

(2) 碧南市地産地消推進協議会助成金基準

(3) 碧南市地産地消推進協議会名簿

第1号議案 令和4年度事業報告及び決算報告について

1 令和4年度事業報告

(1) 地元農畜産物の学校給食への安定的供給システムの確立に関すること

時期	事業（行事）の名称	内容	実施協力者	対象者
1 R4.4.12	愛知の新たまねぎの日記念事業	碧南産玉葱を使った給食の提供	J Aあいち中央碧南玉葱部会、給食センター、保育園、こども園、小中学校	幼稚園 保育園 こども園 小中学校
2 R4.4.19	良いきゅうりの日記念事業	三河みどりを使った給食の提供	J Aあいち中央胡瓜部会碧南支部、給食センター、小中学校	幼稚園 小中学校
3 R5.1.23	碧南人参の日記念事業	へきなん美人を使った給食の提供	J Aあいち中央碧南人参部会、給食センター、保育園、こども園、小中学校	幼稚園 保育園 こども園 小中学校

(2) 児童、生徒等の食育推進に関すること

ア 幼稚園児及び保育園児対象

時期	事業（行事）の名称	内容	実施協力者	対象者
1 R4.4~6	エプロンシアター	食生活等に関する話を紙芝居風に説明する	碧南市健康づくり食ボランティア協議会	2幼稚園 5保育園
2 R4.5~6	エプロンシアター	食生活等に関する話を紙芝居風に説明する	生活協同組合コープあいち	1幼稚園 5保育園
3 R4.5~R5.2	もぎとり体験	ニンジンやタマネギなど地元野菜のもぎとり体験	前浜川口農業活性化組合、幼稚園、保育園、こども園	5幼稚園 12保育園 2こども園
4 R4.12.6	碧南産野菜の購入助成	碧南産さつまいもを使った給食等の提供、さつまいもの話	前浜川口農業活性化組合、保育園、こども園	14保育園 2こども園
5 R4.2~3	花育講座	碧南産カーネーション等を使用したアレンジフラワーの体験指導	農村生活アドバイザー、棚尾幼稚園、鷺塚保育園	棚尾幼 5歳児 鷺塚保 5歳児

イ 小学生対象

時期	事業（行事）の名称	内容	実施協力者	対象者
1 R4.9~10	日進小学校ゲストティーチャー	児童のニンジン学習の発表会にゲストティーチャーとして参加	あいちの技人	日進小 3年生
2 R5.2	ニンジン講習会	へきなん美人を使った調理と学習	農村輝きネット・西三河前浜ひまわり、あいちの技人	大浜小 3年生 棚尾小 3年生 中央小 3年生 日進小 3年生 鷺塚小 3年生
3 R4.12.27	クッキングコンテスト助成 (応募総数850点)	碧南の食材を使用した朝食メニューのコンテスト本選	学校給食センター(主催)	市内小学校 5、6年生
4 R4.5 R4.10	稲作体験学習	田植え及び稲刈りの体験学習	J Aあいち中央碧南営農部会、J Aあいち中央、小学校、農業水産課	鷺塚小 5年生 棚尾小 5年生
5 R5.1	花育講座	市内で生産されている花をつかったフラワーアレンジメント制作体験	おうちに花を飾りましょうプロジェクト参画生花店、生産者、JAあいち中央、鷺塚小学校	鷺塚小 6年生

## (3) 地域食品の商品開発及び啓発資料に関すること

	時期	事業（行事）の名称	内容	実施協力者	対象者
1	R4.10	啓発エコバッグの作成、配布	地産地消動啓エコバッグを作成、「へきなん農業マルシェ」（あおいパーク）で来場者に配布（先着100名）	***	へきなん農業マルシェ来場者
2	R4.6～R5.1	食育紙芝居の読み聞かせ	食育・地産地消についての啓発紙芝居の読み聞かせ 「やさいだあーいすき」	農村生活アドバイザー 各種イベント主催者 各種施設	図書館まつり参加者 こども食堂参加者 あおいパーク来場者 安城でんまあと来店者 築山保育園

## (4) 地元農産物の消費拡大に関すること（料理講習会の実施に対する助成、情報発信など）

	時期	事業（行事）の名称	内容	実施協力者	対象者
1	R4.4～R5.3	SNSを活用した情報発信	碧南市農業振興協議会（事務局：農業水産課）の公式SNS「hekinan.agri（へきなんアグリ）」での旬の農産物や行事などの情報発信	碧南市農業振興協議会	
2	R4.4～R5.3	市ホームページでの情報発信	碧南市公式ホームページ「PhotoNews（フォトニュース）」のコーナーでの旬の農産物や行事などの情報発信	***	市民等
3	R4.4～R5.3	市LINEでの情報発信	市公式LINEの友だち登録者にPhotoNewsの記事を配信	***	
4	R4.4～R5.3	メディアへの情報発信	農業に関する行事等について、各種メディアに取材に来てもらうよう事前に報道発表する	***	各種メディア
5	R4.7	クルクマの展示販売会	生産量全国3位、品質全国トップクラスの碧南産の夏の切り花「クルクマ」をPRするため、おしゃれに飾れるアレンジメント展示を行うとともに花束等の即売会を実施	おうちに花を飾りましょうプロジェクト参加生産者、生花店、JAあいち中央	イベント来場者
6	R4.10	てらまちウォーキング心を癒す～花手水	碧南が花の生産の盛んな町であることや花のある暮らしの魅力を知ってもらうため、「大浜てらまちウォーキング」エリア内のお寺の手水舎等に碧南産の花を浮かべた花手水を展示	おうちに花を飾りましょうプロジェクト参加生産者、生花店、JAあいち中央、てらまちウォーキング実行委員会	イベント来場者
7	R5.1	二十歳を祝う会花のフォトスポット	二十歳を迎える若者の門出をお祝いするとともに、碧南が花の産地であることや花の魅力を若者に伝えるため、碧南産の花で飾ったフォトスポットを制作	おうちに花を飾りましょうプロジェクト参加生産者、生花店、JAあいち中央、二十歳を祝う会実行委員会、ヘキスポ	二十歳を祝う会参加者
8	R5.2	フラワーバレンタインのPR展示	世界でいちばん花を贈る日であるバレンタインデーに花束を贈る「フラワーバレンタイン」の取組を周知すると同時に、今注目を浴びている輪菊の「カラーリングマム」を使ったフラワーウォールを制作展示	おうちに花を飾りましょうプロジェクト参加生産者、生花店、JAあいち中央	あおいパーク来場者

## (5) 地産地消推進関係団体に関すること

## ア あいち中央農業協同組合

	時期	事業(行事)の名称	主な内容	主な対象者	実施場所
1	R4. 4. 2	新たまねぎイベント	明石公園にて来園者300名に「へきなんサラダたまねぎ」の配布をし、碧南産の玉葱をPR	消費者	明石公園
2	R4. 4. 10	愛知の新たまねぎの日イベント	「へきなんサラダ玉葱」の詰め放題イベント・レシピの提案	消費者	あおいパーク
3	R4. 4. 11	給食へ食材提供	へきなんサラダ玉葱を提供し、給食に使用してもらう	市内園児、小中学生	市内各園、学校
	R4. 4. 19	給食へ食材提供	三河みどりを提供し、給食に使用してもらう	市内幼稚園、小児、小中学生	市内幼稚園5園、小中学校
4	R4. 5. 24	稲作体験(田植え)	稲作体験をすることで食育を学ぶ	鷺塚小5年	北浦町水田
5	R4. 5. 27(中止)			棚尾小5年	平和町水田
6	R4/6. 8・6. 10	給食へ食材提供	赤しそを提供し、給食に使用してもらう	市内園児、小中学生	市内各園、学校
7	R4. 7. 2	おうちに花を飾りましょうプロジェクト	クルクマの新たな需要創出プロジェクトとして仏花として用いられる事の多いクルクマを花束にアレンジして販売をして新たな需要創出を求めた	消費者	あおいパーク
8	R4. 9. 6	人参種まき教室	碧南人参のPRを兼ねた種まき体験	大浜小3年	大浜小学校
9	R4. 9. 7			棚尾小3年	棚尾小学校
10	R4. 9. 12			鷺塚小3年	鷺塚小学校
11	R4. 9. 14			日進小3年	日進小学校
12	R4. 9. 12・12. 6	馬鈴薯の植付けと除草・土寄せ・収穫体験	農業体験を通じて「農業」「食料」への理解を深める	鷺塚小	池下町圃場
13	R4. 10. 3	稲作体験(稲刈り)	稲作体験をすることで食育を学ぶ	鷺塚小5年	北浦町水田
14	R4. 10. 7(中止)			棚尾小5年	平和町水田
15	R4. 10. 12	人参間引き教室	碧南人参の生育状況確認による間引き体験	棚尾小3年	棚尾小学校
16	R4. 10. 14			大浜小3年	大浜小学校
17	R4. 10. 18			日進小3年	日進小学校
18	R4. 10. 20			鷺塚小3年	鷺塚小学校
19	R4. 10. 16	大浜てらまちウォーキング	地元農産物の試飲・試食・販売	来場者	旧・大浜警察署
20	R4. 11. 26・27	愛知市町村フェア	碧南市産の農産物の試飲・加工品販売	来場者	愛・地球博記念公園(モリコロパーク)
21	R4. 12. 1	交通安全啓発運動	へきなん美人の配布	通行車両運転手	碧南市内交差点
22	R4. 12. 2	市長表敬訪問	へきなん美人のPR	碧南市	市長応接室
23	R4. 12. 6	へきなんこども園人参収穫体験	へきなん美人収穫体験	園児・関係者	圃場

24	R4. 12. 16	熱田神宮豊年講トラック市	熱田神宮で開催された第70回愛知県農林畜産物品評会の開催に合わせ「へきなん美人」の試飲、即売をしてへきなん美人のPRを実施	来場者	熱田神宮
25	R4. 12. 27	シーホース三河協賛イベント	碧南市産「へきなん美人」のプレゼント、試飲、販売、加工品販売	来場者	ウイングアリーナ刈谷
26	R4. 11~R5. 2	碧南市ふるさと納税	ふるさと納税返礼品として「へきなん美人」を提供	申込者	
27	R5. 1. 8	おうちに花を飾りましょうプロジェクト	輪菊の新たな需要創出プロジェクトとして仏花として用いられる事の多い輪菊を染色液で色を付け、二〇歳を祝う会の会場でウォールで展示をし、フォトスポットを作成、花束も作成をして二〇歳を祝う会に色を添えた	企画賛同店舗	碧南市文化会館
28	R5. 1. 12	花育活動	碧南地区で花を生産していることを地元の小学生に紹介することで花に興味を持ってもらう事を目的とした	鷺塚小学校6年生	鷺塚小学校
29	R5. 1. 14	へきなん美人収穫体験	ヤマナカ主催による収穫・試食体験	消費者	市内圃場、あおいパーク
30	R5. 1. 20	給食へ食材提供	「へきなん美人」人参を提供し、給食に使用してもらい人参を好きになってもらう	市内園児、小中学生	市内各園、学校
31			地元産「へきなん美人」人参の試食・販売・レシピの提案、ジュースの試飲	消費者	碧南営農センター
32	R5. 1. 22	碧南地区農業まつり	農家数の減少や農業者の高齢化、米価の大幅な下落、農業情勢の先行き不透明かつ厳しい情勢が続き、JAをめぐる情勢が大きな転換期を迎えているなか、国力の源となる強い農業を目指し、食糧生産の意義や必要性を広く地域社会のアピールする。さらに、安心・安全な農産物の提供、地産地消と食農教育を普及し、日本の食と暮らしを守るための意識啓蒙を図る。	管内組合員及び地域住民	碧南営農センター
33	R5. 2. 7~12	おうちに花を飾りましょうプロジェクト	近年、取り上げられているフラワーバレンタインに向けて、輪菊の新たな需要創出プロジェクトとして仏花として用いられる事の多い輪菊を染色液で色を付け、ウォールで展示をし、フォトスポットを作成、あおいパークで展示をして新たな需要を求めて展示した。	消費者	あおいパーク
34	R5. 3. 20	市長表敬訪問	サラダ玉葱のPR	碧南市	市長応接室
35	R5. 3. 25・26	おうちに花を飾りましょうプロジェクト	ケーブルテレビのキャッチ創設30周年の記念イベントとして、輪菊の新たな需要創出プロジェクトとして仏花として用いられる事の多い輪菊を染色液で色を付け、ウォールで展示をし、フォトスポットを作成し展示することでイベントに花を添えた	消費者	3/25-明石公園 3/26-デンパーク
36	R4. 4. 7・11	取材対応	カーネーションPR (日本農業新聞)	消費者	市内圃場
37	R4. 5. 26		赤しそPR (CBC・中京テレビ・メテレ他)	消費者	市内圃場
38	R4. 6. 8		トウモロコシPR (メーテレ・キャッチ他)	消費者	市内圃場
39	R4. 6. 13		クルクマPR (東海テレビ・キャッチ他)	消費者	市内圃場
40	R4. 7. 7		枝豆PR (東海テレビ・CBC他)	消費者	市内圃場
41	R4. 7. 15		葉ショウガPR (東海テレビ)	消費者	市内圃場

42	R4. 7. 22	取材対応	生ラッカセイPR (キャッチ他)	消費者	市内圃場
43	R4. 8. 5		輪菊PR (キャッチ他)	消費者	市内圃場
44	R4. 10. 21		トマトPR (キャッチ他)	消費者	市内圃場
45	R4. 10. 27		ナスPR (CBC・キャッチ他)	消費者	市内圃場
46	R4. 11. 22		肥料高騰対策関連【ニンジン「へきなん美人」PR】(CBC)	消費者	市内圃場
47	R5. 2. 9		ニンジン「へきなん美人」PR(家の光他)	消費者・読者	市内圃場
48	R5. 2. 21		ニンジン「へきなん美人」PR(テレビ愛知)	消費者・視聴者	市内圃場他
49	R5. 3. 1		たまねぎ「へきなんサラダたまねぎ」PR(農協観光)	消費者・読者	市内圃場
50	R5. 3. 2		たまねぎ「へきなんサラダたまねぎ」PR(中京テレビ)	消費者・視聴者	市内圃場
51	R5. 3. 14		たまねぎ「へきなんサラダたまねぎ」PR(中京テレビ)	消費者	市内圃場
52	R5. 3. 23		たまねぎ「へきなんサラダたまねぎ」PR(中京テレビ)	消費者	市内圃場

イ 農事組合法人 前浜川口農業活性化組合

	時期	事業（行事）の名称	内容	主な対象者	実施場所
1	R4. 5. 10～ R5. 2. 28	野菜のもぎとり体験	たまねぎ、じゃがいも（春）、さつまいも、大根、人参	市内幼稚園・保育園・こども園	河方町体験農園
2	R4. 12. 6	地産地消推進協議会助成	昼食：さつま芋と鮭のクリームシチュー おやつ：手作りさつま芋ドーナツ	市内16の保育園児	市内保育園
3	R5. 3. 4・5	あおいパークフラワーフェスタ	ハーブ苗のプレゼント	一般	あおいパーク

ウ 農村生活アドバイザー

	時期	事業（行事）の名称	内容	主な対象者	実施場所
	R4. 6. 15	紙芝居発表	図書館イベント	未就学児親子	碧南市立図書館
	R4. 7. 28	食育	こども食堂で紙芝居上演	こども食堂参加親子	中部公民館
	R4. 8. 4	親子うどん教室	手打ちうどん作り講師	小学生親子	あおいパーク
	R4. 11. 30	ロータリークラブ卓話会	紙芝居上演	ロータリークラブ会員	碧南市商工会議所
	R5. 1. 13	J A食育活動	紙芝居上演	保育園児年長	築山保育園
	R5. 2. 8	花育	フラワーアレンジメント	保育園児年長	棚尾幼稚園
	R5. 3. 22	花育	フラワーアレンジメント	保育園児年長	鷺塚保育園

エ 農村輝きネット・西三河前浜ひまわり

	時期	事業（行事）の名称	主な内容	主な対象者	実施場所
1	R5. 2. 2	地元農産物を使ったデモンストラーション型授業	へきなん美人の調理、人参ゼリー（講師のみ）、DVD鑑賞、人参の栽培について、クイズ、ニンジンジュース試飲、へきなん美人のプレゼント	大浜小3年96名	大浜小学校
2	R5. 2. 6	地元農産物を使ったデモンストラーション型授業	へきなん美人の調理、人参ゼリー（講師のみ）、DVD鑑賞、人参の栽培について、クイズ、ニンジンジュース試飲、へきなん美人のプレゼント	棚尾小3年112名	棚尾小学校
3	R5. 2. 9	地元農産物を使ったデモンストラーション型授業	へきなん美人の調理、人参ゼリー（講師のみ）、DVD鑑賞、人参の栽培について、クイズ、ニンジンジュース試飲、へきなん美人のプレゼント	中央小3年91名	中央小学校
4	R5. 2. 14	地元農産物を使ったデモンストラーション型授業	へきなん美人の調理、人参ゼリー（講師のみ）、DVD鑑賞、人参の栽培について、クイズ、ニンジンジュース試飲、へきなん美人のプレゼント	日進小3年47名	日進小学校
5	R5. 2. 16	地元農産物を使ったデモンストラーション型授業	へきなん美人の調理、人参ゼリー（講師のみ）、DVD鑑賞、人参の栽培について、クイズ、ニンジンゼリー試食、へきなん美人のプレゼント	鷺塚小3年110名	鷺塚小学校



オ ひまわりクラブ

	時期	事業（行事）の名称	内容	主な対象者	実施場所
1	R4. 4. 5	ゴキブリ団子作り	会員同士の交流	会員	碧南中支店
2	R5. 1. 24	地元大豆を使ったみそづくり		会員	碧南中支店
3	R5. 3. 10	花壇の花植え	心に癒しを	会員	花壇

カ 碧南市消費生活保護協会

	時期	事業（行事）の名称	内容	主な対象者	実施場所
1	R4. 5. 25	七福醸造料理教室	白だしを使った料理教室	会員	文化会館
2	R4. 9. 21	七福醸造料理教室	白だしを使った料理教室	会員	文化会館
3	R4. 11. 30	七福醸造料理教室	白だしを使った料理教室	会員	文化会館
4	R5. 2. 22	七福醸造料理教室	白だしを使った料理教室	会員	文化会館
5	R4. 9・R5. 3	協会だより発行	白しょうゆ等を使った料理の紹介	会員	

キ 学校給食センター

	時期	事業（行事）の名称	内容	主な対象者	実施場所
1	R4. 12. 27	クッキングコンテスト	「ぼくたち、わたしたちにまかせて かんたん碧南朝ごはん～朝から野菜をたくさん食べよう～」クッキングコンテストとして、碧南の産物を使った自分でできる朝ごはんメニューを募集し、本選で披露した。	市内小学校5・6年生	あおいパーク

ク 碧南市健康づくり食ボランティア協議会

	時期	事業（行事）の名称	内容	主な対象者	実施場所
1	R4. 4～6	エプロンシアター	好き嫌いなくバランスのよく食べることの大切さの学習	市内園児	幼稚園2保育園5
2	R4. 7. 21	親子食育クッキング	クイズ等による食育、バランス献立で調理実習	親子	あおいパーク
3	R4. 10	遊友の会、ミニレクチャー	高血圧予防の食生活講座、デザート提供	遊友の会 高齢者	あいくる、東部プラザ、棚尾公民館、文化会館

ケ 碧南市生活学校

	時期	事業（行事）の名称	内容	主な対象者	実施場所
1	R4. 9. 13	いいともあいち運動推進協議会	地産地消の推進及び活動発表	県内関連団体	自治センター5階
4	R4. 12. 14	料理教室	地元産野菜等を使った料理教室	会員	中部公民館

コ その他

	時期	事業（行事）の名称	内容	実施場所	実施主体者
1	R4. 4. 10	農商工連携事業	市内飲食店等でサラダたまねぎを使ったメニューを提供	市内各協賛店等	碧南商工会議所、あいち中央農業協同組合、碧南市
2	R4. 4～R5. 3	園内での野菜の栽培や収穫		各園	幼稚園、保育園
3	R4. 4～R5. 3	ふれあい農園	野菜の栽培や収穫	各園等	保育園、地区老人会

サ JAあいち中央一粒の会

	時期	事業（行事）の名称	内容	主な対象者	実施場所
1	R4. 4. 2・5. 7・ 6. 4・7. 2・ 8. 6・9. 3・ 10. 1・11. 5・ 12. 3・R5. 1. 7・ 2. 4・3. 4	おとうふ工房いしかわ朝市	一粒の会会員企業、商品の販売促進、地産地消・食育活動	一般	おとうふ工房いしかわ
2	R4. 7. 16	一粒の会小麦収穫祭	一粒の会PR活動（ひやむぎ配布）	一般	でんまあと安城西部支店
3	R5. 2. 18	一粒の会大麦収穫祭	一粒の会PR活動（豆腐配布）	一般	でんまあと安城北部支店
4	R5. 3. 25	神杉酒造蔵開きイベント	田植え・鑑賞会・稲刈り	一般	デンパーク正面付近

## 2 令和4年度収支決算報告について

### 収入の部

(単位：円)

区分	予算額	決算額	比較増減	備考
(1) あいち中央農協負担金	200,000	200,000	0	
(2) 碧南市補助金	200,000	200,000	0	
(3) 雑収入	33	2	-31	利息
(4) 繰越金	242,667	242,667	0	
収入合計	642,700	642,669	-31	

### 支出の部

(単位：円)

区分	予算額	決算額	比較増減	備考
(1) 会議費	5,000	1,555	-3,445	総会費用
(2) 旅費	1,000	0	-1,000	協議会としての各種研修会等への派遣費等
(3) 需用費	5,000	0	-5,000	事務消耗品等
事業費	550,000	569,977	19,977	
(4) ①自主事業費	500,000	569,977	69,977	さつま芋購入助成（保育園） クッキングコンテスト参加賞 クッキングコンテスト後援 エプロンシアター（コープ） 体験教室（花育、紙芝居、人参） 講師料（うどん打ち、ニンジン） 地産地消啓発物品作成
②助成事業費	50,000	0	-50,000	各種団体等の自主的な活動の助成等
(5) 予備費	81,700	0	-81,700	
支出合計	642,700	571,532	-71,168	

収入金額 642,669 円


支出金額 571,532 円

71,137 円 次年度へ繰越

監 査 報 告 書

令和4年度碧南市地産地消推進協議会収支決算について関係帳簿、証拠書類等監査したところ、適正に処理されたものと認めます。

令和5年 5月22日

監 事 兵藤俊宏 

監 事 石川浩義 

碧南市地産地消推進協議会

会 長 藤 浦 利 吉 殿

## 第2号議案 令和5年度事業計画（案）及び予算（案）について

### 1 令和5年度事業計画（案）について

本協議会の目的に合致する次の取組等について、関係団体と協力して推進する。

#### (1) 地元農畜産物の学校給食への安定的供給システムの確立に関すること。

ア 地元農畜産物の学校給食への使用の推進

#### (2) 児童・生徒等の食育推進に関すること。

ア 幼稚園児及び保育園児対象

(ア) エプロンシアターの実施

(イ) もぎ取り体験の実施

(ウ) 食育活動費（碧南産野菜の配布など）の助成

(エ) 花育講座の助成

イ 小学生対象

(ア) 総合学習等の食育活用講座（食育・地産地消講座など）の助成

(イ) 市内小学校のクッキングコンテストの支援

(ウ) 花育の推進

#### (3) 地域食品の商品開発及び啓発資料に関すること。

ア 白しょうゆ、みりん等の調味料及び地元農畜産物を使った料理の情報提供

イ 地産地消及び食育に関する啓発資料の作成

ウ 作成した啓発資料を活用した食育・地産地消活動の助成

#### (4) 地元農畜産物の消費拡大に関すること。

ア 地産地消推進関係団体を実施する料理教室等の助成

イ 旬の地元農畜産物に関する市民等への情報発信

#### (5) 地産地消推進関係団体に関すること。

ア 自主的な活動に対する支援

#### (6) その他、地産地消推進事業に関すること。

ア 「第4次碧南市食育推進計画」に即した地産地消の推進

イ 親子で行う体験教室の実施

## 2 令和5年度収支予算（案）について

### 収入の部

(単位：円)

区分	本年度	前年度	比較増減	備考
(1) あいち中央農協負担金	200,000	200,000	0	
(2) 碧南市補助金	200,000	200,000	0	
(3) 雑収入	63	33	30	預金利息等
(4) 繰越金	71,137	242,667	△ 171,530	
収入合計	471,200	642,700	△ 171,500	

### 支出の部

(単位：円)

区分	本年度	前年度	比較増減	備考
(1) 会議費	2,000	5,000	△ 3,000	総会費用
(2) 旅費	1,000	1,000	0	協議会としての各種研修会等への派遣費等
(3) 需用費	2,000	5,000	△ 3,000	事務消耗品等
事業費	465,000	550,000	△ 85,000	
(4) ①自主事業費	415,000	500,000	△ 85,000	エプロンシアター（幼稚園、保育園等） おやつ用野菜購入助成（保育園等） クッキングコンテスト助成（小学校） 地産地消講座（小学校） 花育活動助成（保育園等）
②助成事業費	50,000	50,000	0	各種団体等の自主的な活動の助成等
(5) 予備費	1,200	81,700	△ 80,500	
支出合計	471,200	642,700	△ 171,500	

ただし、各区分間の予算は、流用できるものとする。

## 第3号議案 碧南市農山漁村発イノベーション戦略について

### 1 経緯

現在、国において農畜産物を使った加工品の開発、直販やインターネット販売といった販路の拡大等といった所謂6次産業化の促進等を目的とした地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律(以下「6次産業化法」という。)が制定されている。各地域で関係機関が連携して6次産業化等を推進できるようにするため、市町村段階において6次産業化の方針等を定める所謂市町村戦略の策定を国においても推進している。

そのような中で近年の新型コロナウイルスや不安定な世界情勢等の影響により農業を取り巻く環境も大きく変化しており、今後の農業経営を発展させていくための方策として、6次産業化が必要な事項であると考え、碧南市(以下「本市」という。)においても令和2年度から6次産業化人材育成研修を県、関係機関等の支援を受けて実施してきた。その中で市内農業者において加工品の開発、直売の実施等の取組が見られるようになり、6次産業化の機運が高まりつつある。

また、県の制度の改正により農業振興地域内において農家レストラン等を建設する際の条件の1つとして当該市町村戦略の策定が規定され、6次産業化に係る国の補助事業である農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)においても市町村戦略の策定による補助率の特例が設けられていることもあり、6次産業化における市町村戦略の重要性が増してきている状況がある。

以上の状況を踏まえ、本市における6次産業化の更なる発展に寄与するため、市町村戦略として「碧南市農山漁村発イノベーション戦略」(以下「戦略」という。)の策定を検討したいと考える。市町村戦略については、市町村、農林漁業、商工等の関係機関で構成された会議体による協議が必要とされているため、碧南市地産地消推進協議会において戦略の素案を付議するものである。

### 2 戦略の概要

#### (1) 戦略の計画期間

令和5年6月から令和10年6月までの5年間

#### (2) 戦略の内容

##### ア 現状と課題

本市における6次産業化の現状と課題の分析を行う。

イ 取組方針及び農山漁村発イノベーション事業体への支援

戦略における今後の取組方針及び6次産業化に取り組む農業者への支援内容として、6次産業化人材育成研修による育成、6次産業化サポートセンターの活用、国等の事業活用及び農業経営改善補助金における支援について規定する。

ウ 成果目標

戦略の成果目標として、6次産業化法に規定する総合化事業計画の認定を得られる農山漁村発イノベーション事業体を、令和10年度までに3農業者以上育成することを規定する。

エ 農畜産物の活用、販路拡大等の方向性

戦略における農畜産物の活用、販路拡大等の方向性として、市内においての既存の取組を支援しつつ、新規の取組等についても農業者の自主性を重視し、情報発信、研修実施、補助等の支援を中心として、農山漁村発イノベーション事業体の下支えをすることを主眼に置くことを規定する。

オ 農山漁村発イノベーション事業体の将来像

市内における6次産業化の将来像として、戦略により6次産業化への取組を支援することにより、農業者同士の連携、異業種との連携といった個々の農業者の枠を超えた連携に繋がり、本市における農林漁業等の振興、地域の活性化及び消費者の利益の増進に寄与されることを規定する。

3 近隣他市の策定状況

市	戦略の策定状況	戦略の計画期間
碧南市	策定予定	令和5年6月から令和10年6月までの5年間
刈谷市	策定予定なし	
安城市	策定予定なし	
西尾市	策定予定なし	
知立市	策定予定なし	
高浜市	策定予定なし	

※県内においては、新城市、日進市、美浜町等が策定済み

4 今後のスケジュール

愛知県へ協議を行い、協議終了次第、策定を行う。



# 碧南市農山漁村発イノベーション 推進戦略（案）

令和5年度～令和10年度

令和5年6月

碧 南 市

## 目 次

1	戦略策定の趣旨	.....	1
2	戦略の計画期間	.....	1
3	現状と課題	.....	1
4	取組方針及び農山漁村発イノベーション事業体への支援	.....	2
5	成果目標	.....	3
6	農畜産物の活用、販路拡大等の方向性	.....	3
7	農山漁村発イノベーション事業体の将来像	.....	3

## 1 戦略策定の趣旨

現在、国において地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律（以下「6次産業化法」という。）が制定されており、農林漁業者が生産から加工、販売まで一体的に取り組み、事業の多角化及び高度化、新たな事業の創出等に関する施策並びに地域の農林水産物の利用の促進に関する施策を総合的に推進することにより、農林漁業等の振興、地域の活性化及び消費者の利益の増進を図るとともに、食料自給率の向上及び環境への負荷の少ない社会の構築に寄与することを目的としている。

しかしながら、近年の新型コロナウイルスや不安定な世界情勢等の影響により碧南市（以下「本市」という。）の農業を取り巻く環境も大きく変化しており、農業者も大きな影響を受けている。今後の農業経営に対して危機感を抱いている農業者も存在する中で、こうした情勢に対応し、今後の農業経営を発展させていくための方策として、農畜産物のブランド化、新たな商品開発、直販やインターネット販売といった販路の拡大等といった6次産業化を実践することが、安定した魅力ある新しい農業経営を実現し、本市の農業をより一層盛り上げていくにあたって必要な事項であると考えます。また、第6次碧南市総合計画においても、今後10年を見据えた重点課題として「農産物のブランド力の推進」及び「6次産業化及び販路拡大への支援」を位置付けており、本市においても重要な施策として捉えている。

以上を踏まえ、本市の6次産業化について、現状と課題、取組方針等について整理し、本市の農業を持続可能な産業として活性化することを目指し、「碧南市農山漁村発イノベーション戦略」を策定する。

## 2 戦略の計画期間

令和5年6月から令和10年6月までの5年間

## 3 現状と課題

### (1) 現状

本市は、愛知県のほぼ中央、名古屋市から40km圏内に位置し、北は油ヶ淵、東は矢作川、西、南は衣浦港と周囲を水に囲まれている。地形的には、洪積層の碧海台地（北部から中西部）と矢作川沖積層（東部から南部）からなる平坦地であり、温暖な

気候に恵まれている。農業面においては、これらの地理的条件を背景に、農業振興地域の農地796haを主として、土地基盤の整備や近代化施設の導入により、地域の特性を生かした営農活動が展開されている。砂質土壌の南部一帯では、露地野菜を主体に栽培が行われており、ニンジン、タマネギは、野菜指定産地の指定を受け、県下でも有数の産地となっている。北部は、水稲、小麦、大豆等の土地利用型作物や、田から畑への転換により果樹（イチジク等）が栽培されている。また、市内各地で施設園芸（トマト、キュウリ、ナス、切り花、観葉植物等）が盛んであり、南部の養豚団地を中心に畜産も行われている。

本市における6次産業化法に基づく総合化事業計画（以下「総合化計画」という。）の認定は、実績が少なく、今後、事業認定の実績を挙げるため、認定希望者に対する支援が必要と考える。ただ、近年、6次産業化に自ら取り組み、農畜産物のブランド化、加工品の開発、直販等に前向きな農業者が増えてきており、当市においても愛知県が設置している愛知県農山漁村発イノベーションサポートセンター（愛知県6次産業化サポートセンター。以下「6次産業化サポートセンター」という。）の協力を受けて6次産業化人材育成研修を実施し、農業者の支援を行ってきており、その結果6次産業化を新たに実践する農業者が徐々に増加してきている傾向がある。また、当市が認定農業者を対象として実施している農業経営改善補助金において6次産業化の取組への支援を盛り込んでおり、活用の実績が出始めている。

## (2) 課題

依然として6次産業化に取り組むにあたって、興味は持ちつつも実践に踏み込めない農業者も多い実情もあり、既存の農業経営に対しての危機感に対する温度差も農家ごとに異なっている。

現状では観光農園、農家レストラン等の運営、加工品の開発について、市内での実績が少なく、これらの取組に対する支援が必要になってくると考える。また、イベントでの販売やインターネットや直売所での直販について、実績は増加してきてはいるものの、市全体として見ると依然として小規模である。

## 4 取組方針及び農山漁村発イノベーション事業体への支援

### (1) 6次産業化人材育成研修による農業者の育成

6次産業化人材育成研修を継続的に実施し、6次産業化に意欲のある農業者の育成

に努める。

(2) 6次産業化サポートセンターによる支援の活用

6次産業化サポートセンターによる支援について、これまでどおり積極的に活用することとし、6次産業化人材育成研修における監修や農家への個別指導等について、今後も連携を図るものとする。

(3) 国等の事業活用に向けての支援

農業者が観光農園、農家レストラン、加工所等の設置や6次産業化に係る取組に対して国の農山漁村振興交付金等の関連事業の活用をする場合において、県、6次産業化サポートセンター等の関係者と連携しながら事業活用に向けての支援を行う。

(4) 農業経営改善補助金における6次産業化の取組の支援

当市が認定農業者を対象に実施している農業経営改善補助金において6次産業化の取組への支援を継続していく。

## 5 成果目標

総合化事業計画の認定を得られる農山漁村発イノベーション事業体を、令和10年度までに3農業者以上育成することを成果目標とする。

## 6 農畜産物の活用、販路拡大等の方向性

6次産業化法の目的に謳われている農林漁業等の振興、地域の活性化及び消費者の利益の増進を図るため、当戦略においては市内のあらゆる農畜産物を対象とするものとする。また、その方向性としては、既に市内農業者により行われている6次産業化に対する支援を継続しつつ、新規の取組、加工品の商品開発、観光農園、農家レストラン、直売所、加工所等の6次産業化に関連する施設の新設、他業種を含めた連携等についても、農業者の自主性を重視しつつ、情報発信、研修実施、補助等の支援を中心として、農山漁村発イノベーション事業体の下支えをすることを主眼に置くものとする。

## 7 農山漁村発イノベーション事業体の将来像

現状として、6次産業化への取組は徐々に進みつつあるものの、取り組む農業者は少数に限られており、地域一帯としての動きまでには至っていない。本戦略により6次産業化への取組を支援することにより、個々の農業者の育成が為され、その先の農業者同

士の連携、異業種との連携といった個々の農業者の枠を超えた連携に繋がり、本市における農林漁業等の振興、地域の活性化及び消費者の利益の増進に寄与されること将来像とする。

# 碧南市地産地消推進協議会規約

(名称)

第1条 この協議会は、碧南市地産地消推進協議会（以下「協議会」という。）という。

(目的)

第2条 協議会は、安心安全な地元農畜産物の消費拡大の推進と、地元特産品の加工食品化を図ることにより、地産地消を推進する。併せて、地元農畜産物の学校給食等への安定供給のシステム化を図り、地域農業の活性化に寄与することを目的とする。

(事務局)

第3条 協議会の事務局は、碧南市役所経済環境部農業水産課に置く。

(構成)

第4条 協議会は、次に掲げる者をもって構成する。

- (1) 農業者及び農業者団体
- (2) 農家の女性代表
- (3) 消費者の代表
- (4) 児童・生徒等の保護者
- (5) 学校等関係者
- (6) 学校給食等関係者
- (7) あいち中央農業協同組合の職員
- (8) 西三河農林水産事務所農業改良普及課の職員
- (9) 碧南市の職員
- (10) 学識経験者

(事業)

第5条 協議会は、次の事業を行う。

- (1) 地元農畜産物の学校給食への安定的供給システムの確立に関する事。
- (2) 児童・生徒等の食育推進に関する事。
- (3) 地域食品の商品開発、及び啓発資料に関する事。
- (4) 地元農畜産物の消費拡大に関する事。
- (5) 地産地消推進関係団体の支援に関する事。
- (6) その他、地産地消推進事業に関する事。

(役員)

第6条 協議会に、次の役員をおく。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 監事 2名

2 会長は、協議会を代表し、会務を処理するとともに会議の議長となる。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、職務を代理する。

4 監事は、会計会務の執行を監査する。

(役員を選出)

第7条 役員は総会において委員の中から選出する。

(役員任期)

第8条 役員任期は2年とし、再任を防げない。ただし、補欠により選任された役員任期は前任者の残任期間とする。

(総会)

第9条 総会は、毎年1回開催し、会長が招集する。

(総会の協議事項)

第10条 次の事項は、総会の議決を経るものとする。

- (1) 規約の改正
- (2) 事業計画および収支予算の決定
- (3) 事業報告および収支決算の承認

2 総会の議事は、出席者の過半数をもって決する。

(協議会)

第11条 協議会は、会長が必要に応じ招集し、会務の執行に関し重要事項を審議する。

2 会長は必要に応じて協議会に構成委員以外の関係者を出席させて意見を求めることができる。

(経費)

第12条 協議会の経費は、負担金、補助金、および寄付金等をもってこれにあてる。

(会計年度)

第13条 協議会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。



(委任)

第14条 この規約に定めるもののほか、この協議会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この規約は、平成19年5月29日から施行する。

附 則

この規約は、平成22年5月20日から施行し、平成22年4月1日から適用する。

## 碧南市地産地消推進協議会助成基準

### 1 助成対象事業

本助成基準は、碧南市地産地消推進協議会に参画する市内の団体が実施する「碧南の農畜産物の地産地消を推進する事業」に対するものである。

### 2 助成回数

次に記載の助成基準を基に、各団体年間1回を上限として助成する。

### 3 助成基準

#### (1) 事業主体

事業の主体が団体個々であること（この場合イベントへの自主参加も含む。ただし、イベント主催者より補助金等ある場合を除く）

#### (2) 助成対象事業

事業の主たる材料が碧南の農畜産物であり、かつ講師を除く参加者が10名以上であるもの

#### (3) 助成対象経費

個々の事業で使途された経費（ただし、以下の経費は除く）

- ・ 反省会等での飲食費
- ・ 補助申請や実績報告に必要な経費（写真代等）
- ・ その他、事業に対して過剰に購入されたことが明らかであるもの

#### (4) 助成金額

助成対象経費の2分の1（上限2万円）

#### (5) 助成の手順

ア 助成を受けようとする団体は事前に「事業計画書（様式1）」、「収支予算書（様式2）」を提出すること。

イ 事業実施後1ヶ月以内に、「実績報告書（様式3）」、「収支報告書（様式4）」を提出すること。

ウ 実績報告書を確認した後、助成金を交付する。

#### (6) 実績報告時に必要な書類

- ア 実績報告書
- イ 領収書等金額の証明となるもの
- ウ 収支報告書
- エ 写真
- オ 参加者名簿

本助成基準は、平成19年5月29日より適用する。

本助成基準は、平成28年4月1日より適用する。

# 碧南市地産地消推進協議会役員・委員名簿

令和5年6月1日

職名	所属	職名	氏名
会長	碧南市農業委員会	副会長	藤浦 利吉
副会長	碧南市消費生活保護協会	会長	神谷 葉子
副会長	あいち中央農業協同組合 営農企画部	副部長（営農企画課 担当・部長代行）	野村 勝己
監事	碧南市小中学校長会	日進小学校長	兵藤 俊宏
監事	あいち中央農業協同組合 営農部	碧南営農センター長	石川 浩義
	農事組合法人 前浜川口農業活性化組 合	組合長	高松 鉄実
	J Aあいち中央 碧南露地野菜協議会	会長	磯貝 定弘
	農村生活アドバイザー	代表	藤関とし子
	農村輝きネット・西三河前浜ひまわり	代表	杉浦 千秋
	ひまわりクラブ	代表	奥谷 治子
	一粒の会	実需者代表	小笠原良治
	碧南市保育所父母の会連絡協議会	代表	矢羽田勇次
	碧南市立小中学校幼稚園P T A連絡協 議会	代表	河原 睦
	碧南市健康づくり食ボランティア協 議会	副会長	山田美恵子
	碧南市生活学校	運営委員長	石附 満江
	碧南市教育委員会教育部庶務課	課長	松野 盛高
	第1学校給食センター	栄養教諭	矢島 響子
	碧南市社会福祉協議会	栄養士	池田かおり
	あいち中央農業協同組合 碧南園芸課	課長	杉浦 幹也
	西三河農林水産事務所農業改良普及課	専門員	鴨下 巳穂
	碧南市経済環境部	部長	生田 和重

事務局	碧南市経済環境部農業水産課	課長	牧 勝彦
	碧南市経済環境部農業水産課農政振興 係	係長	本多 真
	碧南市経済環境部農業水産課農政振興 係	主査	北村 信晃
	碧南市経済環境部農業水産課農政振興 係	主事	近藤 深月
	碧南市経済環境部農業水産課農政振興 係	会計年度職員	佐藤 希